

しよわ



今月の表紙 2023.9.10

博士トンネル開通祝賀祭

9月10日、博士トンネル昭和村側入口を会場に『博士トンネル開通祝賀祭』が開催されました。始めに行われた開通式に続いて、昭和小学校児童の鼓笛演奏、昭和中学校生徒の太鼓演奏が続き、会場をさらに盛り上げてくれました。

テープカット終了後に、子ども達だけで記念撮影。暑い中、素敵な演奏をありがとうございました。



博士トンネル

村民悲願の

2023.9.10

ついに

開通

令和5年9月10日(日)は、
昭和村にとって歴史的な日となった。

博士峠の改良は国道401号への昇格に始まり、平成初頭のバブル時代の構想の曲折を経て、約半世紀にわたる村民一丸となった国・県への要望活動が功を奏し、ほぼ実現不可能とされたトンネルバイパス化改良に向けて博士峠工区7・5kmの事業化が決定され、平成26年度に事業着手、平成29年度から約6年間の工事が行われた。

特に、バイパス化区間の主要構造物である博士トンネルは出水をとまなう難工事で、工期短縮を図るため両側から同時に掘削する異例の工法が取られ早期開通の実現が図られた。

開通式

9月10日はまず、午前10時30分から県主催の開通式が、副知事を始め両町村長、多くの来賓の臨席のもと厳粛に開催された。





式では、昭和小学校児童の鼓笛隊の演奏行進と、昭和中学校生徒の昭和中大鼓の披露が行われ、来賓関係者のテープカットやくす玉開披、通り初めに華を添えた。



開通祝賀祭

開通式終了後、正午からは期成同盟会部会（会津美里町・昭和村）の主催による開通祝賀祭として、地域住民により関係者へ感謝を伝える催しが開かれた。

続いて、水芭蕉としらかばの杜において村主催による記念植樹が実施され、ヤマザクラの苗木が、両町村長と両町村議会議

記念植樹



会場では来賓への郷土食の振る舞いや、来場者への開通記念品の配布、郷土芸能によるおもてなしとして、大芦ダイモチ引き木遣り保存会と村民有志の蕎麦口上の披露、地元小野川地区ほか村民有志による感謝を伝えるチンドン屋が披露された。

午後3時の一般車両通行開始時には、会津若松建設事務所により昭和村側トンネル入口において通行開始宣言が発せられ、バイパス道路として供用が開始された。先頭車両には記念品も配布され、最初の通行を待ちわびる

いよいよ供用開始



長、会津若松建設事務所長、宮下土木事務所長、小野川区長、博士峠のトンネルを実現する会会長、昭和小学校児童生徒代表により植えられた。

むすび

この9月10日を契機として、本村周辺地域の道路網は一変した。

冬期通行止の解除を始め、近隣町村との往来時間の短縮、救急搬送時間の短縮、災害時対応の迅速化、産業観光物流圏の拡大など、この恩恵は計り知れない。事業化に向けてご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げますとともに、今後は博士峠バイパスを多様な資源として活用し、100年後も昭和村が昭和村であるために、さらなる地域づくりを進めていかなければならない。





昭和村 電子図書館

Showa Village
Digital Library

10月1日
オープン！！

※この事業は、国・デジタル田園都市国家構想推進交付金
デジタル実装タイプマイナンバーカード利用横展開事例創出型を活用しています。

10月1日昭和村電子図書館がオープンしました。電子図書館はインターネットに接続されたパソコン・タブレット・スマートフォンでいつでもどこでも！利用可能なサービスです。

詳細な利用方法は、以降の通りです。マイナンバーカードをお持ちの方は、デジタルIDアプリの「xID」に登録いただくことで、すぐにご利用いただけます。

マイナンバーカードをお持ちでない方は、事前の登録が必要となります。また、利用説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

図書館の蔵書数も今後、拡充していくとともに、過去に村で発行している郷土史のデジタル配信も予定しております。

ぜひ皆さまご利用ください。

昭和村電子図書館へのアクセスはこちらから

▶ <https://showavill.overdrive.com/>



(実際の画面イメージ)

ご利用開始までの流れ

次のページに借り方の説明を掲載しています。

- ▶ マイナンバーカードをお持ちで、マイナンバーカードを読み取れるスマートフォンをお持ちの方

xID アカウントの作成

※xID の登録がお済みの場合は不要です。

> 準備するもの

- ・マイナンバーカード
- ・マイナンバーカード登録時の暗証番号
- ・メールアドレス
- ・スマートフォン

> xID アプリのインストール

xID アプリをダウンロード・インストールしてください。

(Androidの方)



(iOSの方)



> xID アプリへの登録作業

xID アプリを開いて、手順に従い、マイナンバーカードのを読み込みます。



check! ///

Youtube に詳しい手順がありますので、動画で確認ください。

サインインの方法

【xID アプリ (マイナンバーカード) でサインイン】を選択します。



xID に登録したメールアドレスの入力または、QR コード (パソコンの場合表示されます) を読み込み、アプリで承認してご利用ください。

xID アプリを使うことで、すぐにご利用いただける上、今後村では、様々なサービスに xID アプリによるログインを実装する予定です。

- ▶ マイナンバーカードをお持ちでない方
- ▶ マイナンバーカードを持っているが、スマートフォンで読み取れない方

オンラインで登録する場合

> 準備するもの

- ・スマートフォンやパソコン
- ・住所が記載された身分証
- ・メールアドレスまたは、LINE アカウント

> 登録申し込み

●登録フォームから行う場合

以下のフォームにアクセスし、必要情報を入力・送信して下さい。
※メールアドレスが必要です。

<https://s.showavill.jp/Libregi>



●村公式 LINE から行う場合

公式ラインのメニューから、電子図書館をタップし、利用者登録申し込みを選択し、必要な情報を入力・送信して下さい。

※アクセス時に、ユーザー情報を取得しますので、承認しない場合は、メールアドレスの入力が必要となります。

内容を確認の上、登録作業を実施し、必要なカード番号・パスワードを発行し、通知します。(手動での登録となります。)

公民館窓口で登録する場合

- ・住所が記載された身分証をお持ちの上、公民館窓口までおいでください。

内容を確認の上、登録作業を実施し、必要なカード番号及びパスワードを発行します。

サインインの方法

【カード番号でサインイン】を選択し、発行された「カード番号」「パスワード」でご利用ください。



本の借り方・返し方

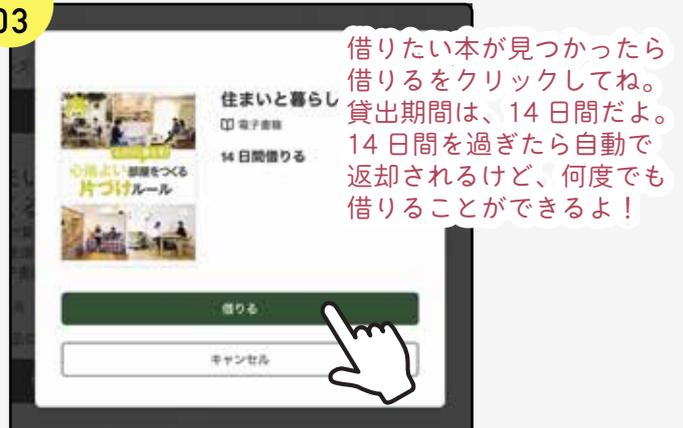
STEP
01



STEP
02



STEP
03



STEP
04



借りたら、すぐに読むことができるよ!

STEP
05



14日間で自動返却されるけど、予約をしている人がいるかもしれないから、読み終わったら返却してね!

紹介しきれない便利な機能もたくさんありますので、
詳しい利用方法については、10月18日(水)にも利用者説明会を予定しています。
その後は、月に1回程度開催予定ですので、ぜひご参加ください!

■ 電子図書館に関するお問い合わせ 昭和村教育委員会 ☎ 0241-57-2114

令和5年度 昭和村敬老会開催

9月16日、昭和村公民館において、4年ぶりに昭和村敬老会が開催され、約100名が参加されました。新たに70歳を迎える方を代表して本名茂さん（下中津川）に敬老記念品が贈呈されました。また、福島民報社と県老人クラブ連合会の「しあわせ金婚夫婦表彰」が行われ、羽染博市さん・ミツヨさん夫婦（両原）に表彰状と「おしどり金メダル」が贈呈されました。アトラクションでは、わらべの会（代表菅家友子さん）によるコーラスと、あいづ民謡まみや会（代表小椋昇さん）による民謡や踊りが披露され、参加者は拍手や歌を口ずさみながら楽しんでいました。

菅家進様・チヨ様（下中津川）
齋藤勉様・正代様（小野川）
羽染博市様・ミツヨ様（両原）



あいづ民謡まみや会の皆さん



わらべの会皆さん



**新しい英語の先生が
着任しました！
(外国語指導助手・ALT)**

Hello, residents of Showa-mura. My name is Alexandra De La Hoz. Please call me Sandora. I was born in Colombia and lived there for 13 years before moving to Canada. I have been living in Canada for 14 years now. I studied Cell and Molecular Biology at Concordia University for 3 years. afterwards I worked for a pharmaceutical company for 2 years. I started studying Japanese at the beginning of this year. I applied for the JET program to be able to learn about Japanese culture and Japanese language. I speak Spanish, English, French and a little Mandarin, I welcome conversations in any language you prefer. I look forward to meeting you all and teaching English.

昭和村の皆さん、こんにちは。私の名前はアレクサンドラ・デ・ラ・ホスです。サンドラと呼んでください。コロンビアで生まれ、カナダに引っ越すまで13年間住んでいました。カナダに住んで14年になります。コンコルディア大学で細胞分子生物学を3年間学び、その後製薬会社で2年間働きました。今年の初めから日本語の勉強を始めました。日本の文化と日本語を学ぶためにJETプログラムに応募しました。スペイン語、英語、フランス語、中国語が少し話せます。皆さんとお会いし、英語を教えられることを楽しみにしています。

ご寄付

8月22日、株式会社西部コンサルタント（代表取締役 鶴川久吉・南会津町）様より、金壹百万円円のご寄附を頂戴しました。

ご寄附は地域の活性化や心地よく暮らせるむらづくりなど村政振興のため有効に活用させていただきます。

ご寄附ありがとうございます。



9月16日、昭和村敬老会で民謡を披露していただいた、あいづ民謡みや会の皆様より2万円のご寄附をいただきました。

代表の小椋昇さんは大芦出身で、「昭和村の福祉に役立てて欲しい」と寄附をお申し出いただきました。誠にありがとうございました。



県民税 知事感謝状の贈呈

8月30日、村長室において、個人県民税の優良町村を讃える知事感謝状が本田会津地方振興局長から村長へ伝達されました。

今後も地方自治の根幹である納税について村民の皆様にご理解いただくとともに、完納に向けて取り組んでいきます。



自然教室で草加市立小学校3校が来村

7月26日に両新田小学校、8月2日に長栄小学校、8月23日に栄小学校の3校が自然教室で来村しました。

矢ノ原湿原の散策や、からむし織体験、かすみ草染色体験など本村ならではの体験学習を行いました。いずれの学校から、コロナ禍で屋外体験の制限があった中、自然教室体験が児童達の間でも良い思い出となったとお話を頂きました。



昭和村移住体験ツアー開催

9月2日〜3日昭和村移住体験ツアーを実施しました。首都圏から4名の参加があり、空き家見学やからむし織体験、ばんでい餅づくり体験などを行い、昭和村の伝統や風土を体験しました。

参加者からの意見を参考に今後の移住定住施策に繋げたいと思います。



公民館日誌

○「陶芸教室」 8月25日・26日

公民館で生涯学習講座、少年教室の陶芸教室を開催しました。

講師に大芦三笑窯の菅野まりさんをお迎えして、陶芸の成形までを教えていただきました。

作りたい作品に合わせ、板づくりや玉づくりで形良く成形し、葉や編み目のついた布で模様を入れ、イメージに合わせて釉薬の色とかけ方を決めました。



○「防災教室」 9月2日

防災月間にちなみ、すみれ荘で少年教室と赤十字奉仕団合同の防災教室を開催しました。

講師に 福島県立博物館学芸員の筑波匡介さんをお迎えして、防災の大切さについてお話いただきました。

防災ワークショップでは、クロスロードを用いて災害時の避難所での困った問題について、意見を出し合い解決策を話し合いました。また、身近にあるものを活用した防災クッキングでは、ポリ袋を使ったたまご蒸しパンと切り干し大根のトマト風煮、お湯を注ぐだけで出来るじゃがりこサラダを作りました。

(主催：公民館「少年教室」／共催：赤十字奉仕団)



○「ミニ盆踊り」 9月2日

昭和村公民館駐車場で盆踊り愛好会主催のミニ盆踊りを開催しました。

日が落ちるまでの短い時間での開催でしたが、太鼓の周りに大きな踊りの輪が出来るほど沢山の皆様にお越しいただき、愛好会の練習の成果も披露することが出来ました。

綺麗な夕焼けの空のもと、太鼓、笛の音、唄と共に盆踊りを楽しみました。



すみれ荘日誌

○「はじめての草刈り講習会」 9月5日

下平運動広場において「はじめての草刈り講習会」を開催しました。産業建設課職員と道路維持作業員を講師に、刈払機の扱い方を基礎から教えていただき、実際に刈払機を使用して草刈りを行いました。

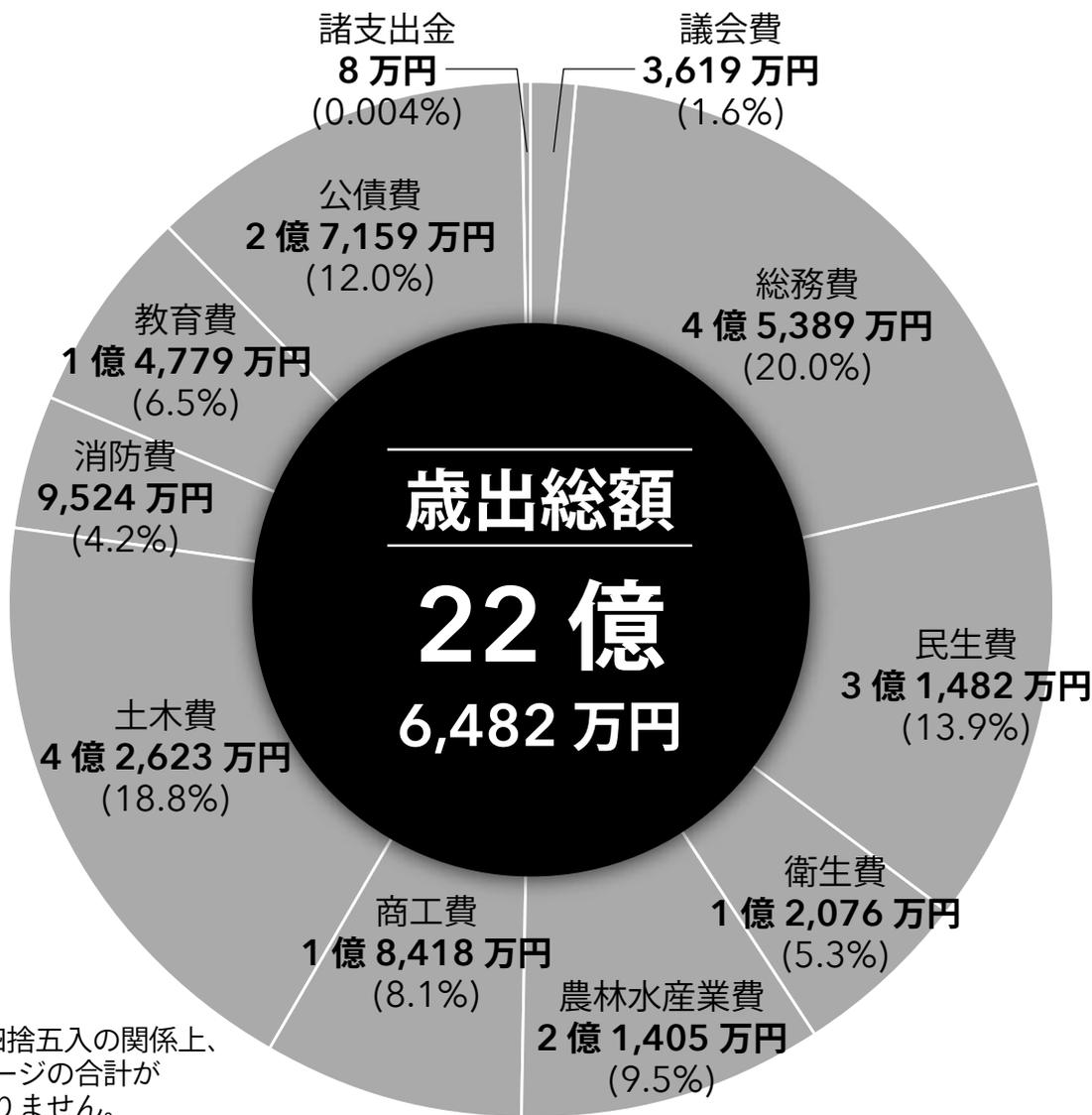
受講者からは、質問も多く飛び交い、自宅周辺の手入れから始めてみたいといった声も聞かれました。



令和4年度 決算 報告

9月に行われた議会定例会において令和4年度の決算が認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額 24 億 1,733 万円、歳出総額 22 億 6,482 万円で、前年度と比較して、歳入は 5.4% の増、歳出は 3.3% の増となっています。税金および国からの交付金などがどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

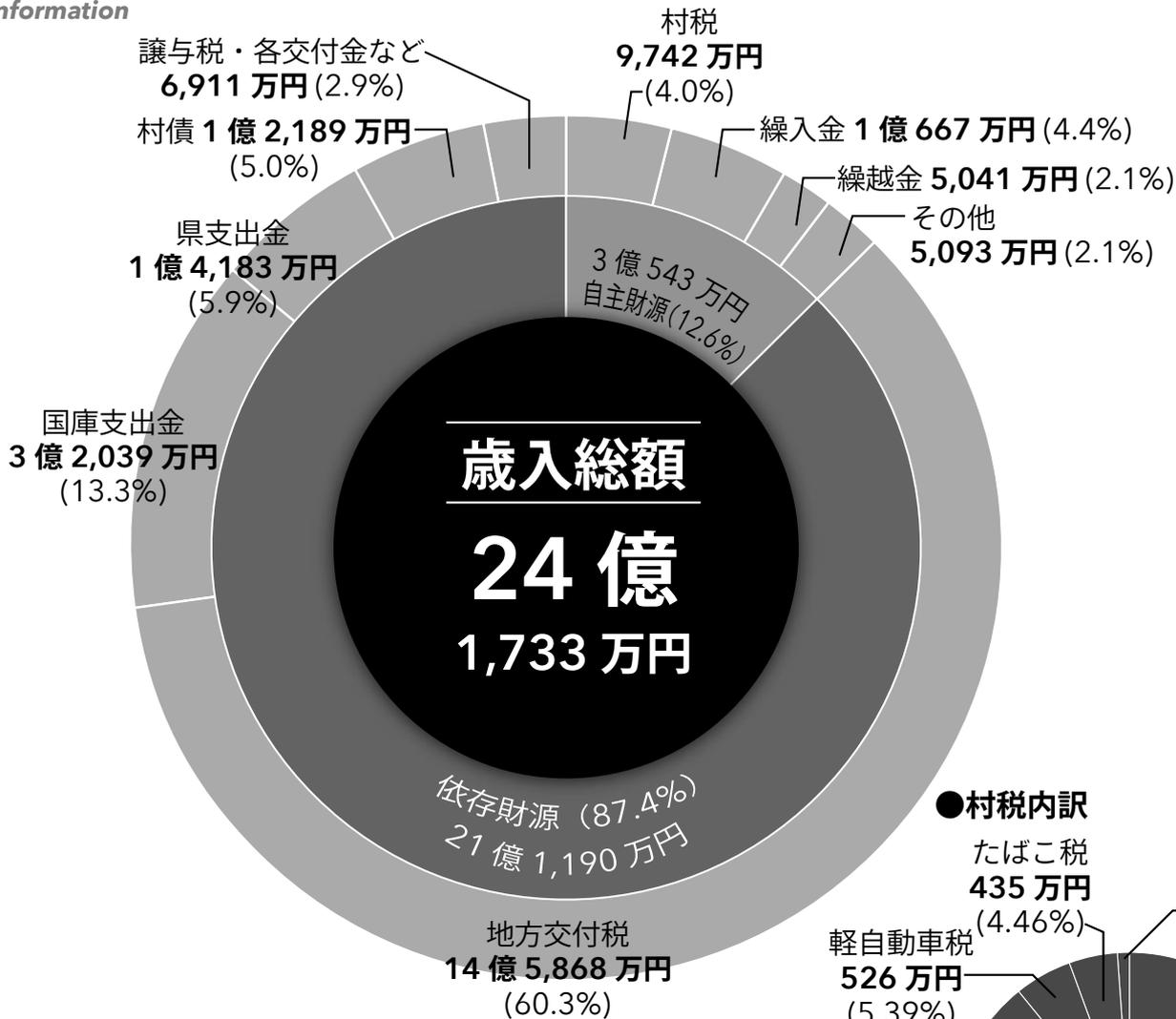


※グラフは、四捨五入の関係上、パーセンテージの合計が 100% となりません。

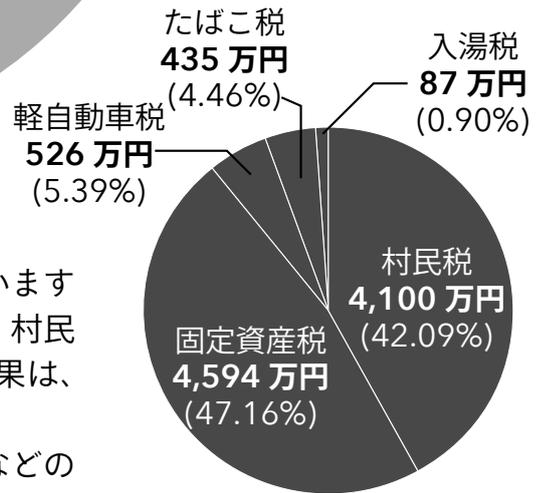
●特別会計決算表

(万円)

会計名		歳入	歳出	差引残高
国民健康保険特別会計	事業勘定	1 億 8,331	1 億 8,238	93
	施設勘定	1 億 1,084	9,542	1,542
簡易水道特別会計		6,730	6,485	245
下水道特別会計		7,688	7,575	113
農業集落排水特別会計		4,822	4,604	218
合併浄化槽特別会計		480	416	64
後期高齢者医療特別会計		2,583	2,535	48
介護保険特別会計 (保険事業勘定)		3 億 4,503	3 億 2,824	1,679



●村税内訳



👉 村のお金のはなし

億単位の話なので、なかなか想像が付きにくいことと思いますので、村のお金のことを身近に感じてもらいたいと思い、村民一人あたり換算(年度末時点の人口で除算)してみた結果は、以下の通りです。

なお、村の貯金である基金残高と村の借金である村債などの地方債も指標として付け加えています。

●村民一人あたりに使われたお金 2,002,493円

議会費	31,998	土木費	376,861
総務費	401,318	消防費	84,204
民生費	278,355	教育費	130,672
衛生費	106,773	諸支出金	70
農林水産業費	189,257	公債費	240,133
商工費	162,847		

単位：円

●村民一人あたりの税負担額

86,136円 (円)

内訳	村民税	36,251
	固定資産税	40,619
	軽自動車税	4,651
	たばこ税	3,846
	入湯税	769

●村民一人あたりの借金 229万円

●村民一人あたりの貯金 239万円

村が事業を行う際に起債(借金)をすることがあり、その借金は、長い年数をかけて返済していくことになっています。年度末の残高は、25億8,464万円ですが、その返済については、地方交付税などによって財源保障されています。

一方、貯金とも言える基金の残高は27億4,686万円です。

●主な事務事業費

限られた財源を有効活用し、住民生活向上のため、多岐に渡り事業を実施していますが、そのうち各費目ごとの主な支出の内容は、次のとおりです。

総務費 4億5,389万円

● 会津計算センター負担金	5,229 万円
● 昭和村南会津町生活バス及び路線バス運行事業	2,194 万円
● 広報公聴事業	386 万円
● DX 推進事業	636 万円
● DX各種(農業・センサー・見守り・除雪)事業	4,601 万円
● からむし織体験生・研修生事業	903 万円
● 未来を描く地域団体応援事業補助金	44 万円
● 非課税世帯等臨時特別給付金	330 万円

農林水産業費 2億1,405万円

● 中山間地域等直接支払交付金事業補助金	1,753 万円
● 多面的機能支払交付金	1,183 万円
● 担い手対策支援事業補助金	1,021 万円
● 新規就農者参入推進事業	1,553 万円
● 新型感染症対策事業	175 万円
● 森林環境交付金事業	427 万円
● 有害鳥獣防護柵等設置事業	325 万円
● 健康増進施設改修工事	2,090 万円

民生費 3億1,482万円

● 老人休養ホーム指定管理料	2,150 万円
● 高齢者生活福祉センター指定管理料	709 万円
● 昭和福社会活動事業補助金	2,188 万円
● 坂下厚生総合病院救急医療等体制支援負担金	727 万円
● 子育て世帯臨時特別給付金	255 万円

商工費 1億8,418万円

● 地域振興事業(喰丸小)	256 万円
● 観光施設管理事業	5,893 万円
● 観光協会運営費補助金	914 万円
● からむし織の里指定管理料	2,000 万円
● 空き家住宅改修援助金	326 万円
● 昭和村地域振興券発行事業	4,430 万円
● 特産品通信販売事業	446 万円

衛生費 1億2,076万円

● 会津若松地方広域市町村圏整備組合衛生費負担金	922 万円
● 廃棄物処理事業	1,173 万円
● 新型感染症ワクチン接種事業	590 万円
● 予防接種事業	368 万円
● 保健事業(健康診断)	363 万円
● ごみ処理最終処分場管理負担金	1,058 万円

土木費 4億2,623万円

● 冬期道路確保事業	1 億 3,484 万円
● ハザードマップ作成	356 万円
● 村道改良事業	1,588 万円
● 道路維持補修事業	1 億 8,820 万円
● 村道管理事業	302 万円
● 村営住宅管理事業	8,333 万円

教育費 1億4,779万円

消防費 9,524万円

● 消防団員報酬	405 万円
● 小型動力ポンプ付積載車購入	671 万円
● 会津若松地方広域市町村圏整備組合負担金	6,494 万円

● スクールバス運転管理業務事業	1,541 万円
● 外国語指導助手招致事業	433 万円
● ICT 教育支援業務委託	178 万円
● 複式学級支援講師等配置	1,647 万円
● 建築設備保守管理委託	792 万円
● 駒止湿原保護協議会負担金	170 万円

令和5年 9月議会
行政報告

村では、定例議会毎に、各分野の事務事業などの進捗状況などを行政報告として議会へ報告しています。今回は9月議会における報告のあらましをお知らせします。

●電力・ガス・食料品等
価格高騰に伴う住民生活への影響緩和

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した地方単独事業の給付金は、住民税非課税世帯に対する重点支援給付金事業の対象となる世帯へ、10月上旬から、順次、支給を行うこととしています。

●広域連携の取組

7月22日に開催された

第36回からむし織の里フェアに、日本で最も美しい村連合に加盟する県内の3自治体をお招きし、それぞれの自然や文化、食などの魅力を紹介していただくとともに、参加自治体との連帯感を深めました。

●心地よく暮らせるむら

Aーオンデマンド型村内移動サービスのシステム事業者については、公募型のプロポーザル方式により受託者が7月に決定したので、運用開始に向けた打合せ等を実施しています。

●先端的過疎への取組

公共インフラWiFiネットワークワーク整備事業については、8月1日に総務省から情報通信技術利用事業費補助金の交付が決定しましたので、本

定例会に必要となる予算を計上しました。

また、電子図書館サービスと防災行政無線連携機能追加事業については、7月に公募型のプロポーザル方式により募集を行った受託者が決定しましたので、運用開始に向けて準備を進めています。

●消防・防災

スマホ・タブレット講座等については、7月下旬から各集落の区長事務所を会場に、全村民を対象として開催しました。老人クラブ連合会や民生委員などの団体を対象とした講座も実施しました。今後におきましても、

など、災害対応にかかわる機関が連携した防災訓練を計画し、区長を通じて実施依頼を行っていましたが、すべての集落から実施の要請がなかったため、8月31日に夜間や停電発生時を想定した役割職員による避難所開設訓練を実施しました。

●農業

■稲作について

夜間の災害や停電への対応については、暗闇による状況の変化に適切に対策が必要となるため、物資の搬出や経路の確保及び安全面の確認、発電機の操作方法や稼働時間の確認等、職員一人一人が訓練を通じながら、それぞれの役割に応じた責務を果たすことで、地域住民の方々の安全安心な生活に結びつくものと考えています。

令和5年産の主食用米の作付面積は、前年実績に比べ、若干の減少傾向にあります。出来秋の作柄が平年作であれば需要が改善に向く見込みであることが、国から示されました。

本年度は、地域住民の皆様に参加していただく防災訓練の実施には至

りませんでしたので、次年度の実施に向けて、昭和村消防団と協議や検討を行い、また、消防・警察からアドバイスを頂きながら、集落の協力が得られるような見直し等を行っていきます。

今後の作況や物価高騰の煽りを受け、消費者の買い控え等が懸念されま

見込めるほか、インバウンドの増加、物価高の中で小麦価格の上昇なども影響を与える可能性が見込まれているため、引き続き、各関係機関と情報共有や連携を図りながら、今後の米価の状況について注視していきます。

本年の生育等の状況については、県会津坂下農業普及所及び金山普及所から、草丈及び葉色は平

年よりも大きい傾向にあり、出穂時期は平年並み、との調査結果が公表されています。梅雨明け後から気温が高い日が続いたことから、高温障害等による品質の低下が懸念され、飽水管理等で地温の上昇を抑制するよう、あぜ道講習会において指導が行われました。

病害虫対策については、福島県は八月一日に、県内全域の水田で斑点米

カメムシによる水稻被害への懸念が高まったことから、病害虫発生予察情報注意報を3年ぶりに発令されました。本村では、7月下旬に「いもち病及びカメムシ」の混合剤による同時防除を行うとともに、8月上旬には「カメムシ」防除をそれぞれ無人ヘリコプターにより実施しました。

一部の圃場において出穂にバラツキが確認されたため、それぞれの生育状況を確認し、必要に応じて個人での薬剤防除を実施していただくよう、あぜ道講習会において農家の皆様に周知を行いました。

■花きについて

平成31年度より登録に向け進めて来ました「昭和和かすみ草」の地理的表示保護制度（GI）について、農林水産省にて登

録認証授与式が行われしました。

これは、福島県内では、南郷トマトや川俣シャモなどに次いで、6例目のエラブユリに続いて全国で2例目の登録となりました。村としても責任産地として、地域農業の更なる飛躍を目指し、関連機関との連携を密に取り組んでいきます。

宿根カスミソウについては、梅雨明け後から高温が続いていることから、例年以上に、8月中旬以降は短茎開花による開花期の前進に注意が必要です。今後も、各関係機関と連携を図りながら、情報の収集に努めていきます。

販売状況については、本年においても高値傾向が続いており、昨年同時期実績と比較して、3ポ

イント増加していますが、高温等の影響で流通量の不足が原因であると考えられます。昨年よりも出荷本数及び箱数ともに上回っており、供給過大による大幅な価格の低落も懸念されますので、関係機関と連携を図りながら的確な状況の把握に努めていきます。

●鳥獣被害対策

今年度は、熊による農作物被害が多く、防除や捕獲活動を実施していますが、特に人身事故などが発生しないよう取組を強化していきます。

また、スマート化事業では、センサーカメラによる監視など、今後の効果的な運用に向け積極的に取り組んでいます。

本年9月6日現在の有害鳥獣の捕獲状況については、熊14頭、イノシ

シ4頭、ニホンジカ6頭、カワウ4羽、カラス6羽です。

●商工関係

からむし織の里地域振興券発行事業については、村内の35の事業者にご協力をいただき、9月6日より順次郵送を行います。

●空き家対策

昨年8月から活動していただいている空き家コンシェルジュについては、今年度の公募に3名の応募があり、広報しようわ7月号で紹介しました。

昨年からの経験を活かし、空き家に関する最新の情報を提供していただき、空き家対策の充実にご尽力をいただいています。

●観光交流事業

新型コロナウイルス感染症の第5類移行後では初めての開催となる「からむし織の里フェア」が、7月22日に開催されました。

梅雨明け当日となる晴天の下、約1200名が来場され、本村でしか体験できない「からむし織」や「かすみ草」に直接触れられる機会を提供するなど、本村の魅力を発信しました。

草加市内小学校の自然教室については、7月下旬から8月中旬にかけて、3校を受け入れ、児童総数271名、延べ人数311名が本村を訪れました。

各校とも2泊3日の行程で、矢ノ原湿原散策やキャンプファイヤー、かすみ草の染色、からむし織など、本村でしか体験できない貴重な体験を通

し、交流を図ってきました。村民の皆様には体験活動のご支援や交通規制にご協力をいただき円滑に受け入れることができました。

●工事関係

村道中向小田垣線の新設改良舗装工事及び入間方不動沢線の道路改良舗装工事については、7月に入札を執行し、契約期限内の完成に向け工事を進めています。

野尻字高畔地内の農道法面補修工事についても、7月に入札を執行し、契約期間内の完成に向け工事を進めています。

国道401号博士峠工区については、昨日、トンネル部分が供用開始され、約9年間の工期を経て、延長7500メートルの博士峠バイパスが完成しました。開通式に

は、福島県副知事をはじめ、多くの来賓及び関係者が出席する中、歓迎と喜びの意を込めて、昭和小学校の鼓笛パレードや、昭和中学校による和太鼓演奏、さらに、村民による大芦ダイモチ引き木遣りが実演され、式典に花を添えていただきました。

開通祝賀祭では、地元小野川地区の方々や、村内事業所の皆様のご協力により、郷土食のおもてなしや地元物産販売が行われ、賑わいの絶えない祝賀会となりました。

また、新島居峠工区については、7月21日に本村も加盟する国道401号改良整備促進期成同盟会による、地元選出国会議員や自由民主党、国土交通省への要望活動が行われました。

国道400号舟鼻峠工区については、昭和村

側の狭隘区間の改良工事等が進められております。国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会では、8月31日に総会を開催し、舟鼻峠の改良整備促進及び構成町村内の改良要望箇所の早期事業着手について、福島県知事並びに福島県議会議長などに対する要望活動の実施が、承認されました。

この2つの路線は本村及び奥会津地域にとって大変重要な広域連携道路であるため、早期改良が図られるよう、引き続き、関係機関と連携し、国や福島県に対し要望活動を継続していきます。

●からむし事業

6月30日から7月2日の3日間、会津ブランドものづくりフェア実行委員会主催で、大宮駅構内で開催された「あいづ

伝統工芸フェア・イン・さいたま」に出展し、本村の伝統的工芸品である「奥会津昭和からむし織」を首都圏で広くPRしました。

また、8月26日から9月10日までの16日間にかけて福島県立博物館にご協力いただき、同館内において「からむし織体験生30周年記念事業」の一環として「からむしと仕事道具、作品展」を実施し、多くの来場者に興味を持っていただきました。

●保健事業

今年度の総合健診は、8月7日から3日間の日程で実施しました。国民健康保険被保険者などを対象にした特定健診は、297人の対象者のうち133人が受診しており、受診率は44・8%となっています。

9月下旬から村内13の会場で健診結果説明会を開催し、生活習慣改善のアドバイスやより健康を保つための、個別指導を行っていきます。

●新型コロナウイルス感染症対策

6回目となるワクチン接種については、5回目接種を終えた65歳以上及び5歳以上の基礎疾患等を有する方を対象に希望調査を行い、6月に3回の集団接種を行っています。8月31日までに接種を終えた方の、65歳以上の村内人口に占める割合は58.2%となっています。今秋にも、ワクチン接種が予定されていますので、意向調査を踏まえ、接種体制の準備を進めていきます。

●ごみ対策事業

7月29日に、食器類及び衣類を対象に資源収集を行い、5月13日実施分の小型家電と合わせ、およそ1.5トンのゴミ減量に繋がりました。

●教育行政

学校教育については、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されたため、小・中学校それぞれで結果を分析し、児童生徒の学力向上に取り組むこととしています。

小学校では、7月に両沼西部三町村水泳記録会、8月に校内水泳記録会、9月には三町村小学校陸上記録会が開催され、児童は練習の成果を十分に発揮しました。

中学校では、6月に生

徒とPTAによる資源回収が行われ、村民の協力で多くの古紙類を回収することができました。部活動では、卓球女子チームが7月の福島県中学校体育大会に出場しております。また、8月には耶

麻・両沼小中学校合同音楽祭が開催され、3年生が金山中学校と合同で参加したほか、両沼中学校英語弁論大会にも3人の生徒が出場しています。

9月7日には全会津中体連駅伝大会が行われ、いずれの競技会でも、生徒は力を存分に発揮しました。

また、3年間、外国語指導助手として児童生徒へ英語指導をしていたアンニク先生が任期を終え、8月下旬に新しくアレクサンドラ先生がカナダから着任いたしました。

英語力増進と、村民が英会話に親しむ活動に取り組んでいただきます。小中一貫教育の推進については、鮫川村教育委員会へ、教育行政関係者等による視察を行いました。これまでの経過のほか、現在の課題など進行中の事例を調査することができて、意義のある研修となりました。

教育施設の整備については、中学校体育館の屋根改修工事が6月末に、小学校の屋根防水修繕工事は7月下旬に、新しいスクールバスの車輛も8月に納車され、それぞれ工期内に完了しています。教員宿舎解体及び新築事業については、解体工事の設計が完了したことから、今年度中に解体を行うため、補正予算を今

定例会に提出しました。

連については、7月に行われた地域スポーツ両沼大会に本村は家庭バレーボールの部に出場し、第4位の成績でした。昭和村成人式は今年も8月15日に開催し、7名の新成人をお祝いすることができました。

9月3日には、福島県芸術祭が会津風雅堂で開催され、本村からは大芦ダイモチ引き木遣り保存会が出演し、勇壮な演技を披露しています。

11月のふくしま駅伝には、本村は今年も希望ふくしまチームの一員として参加します。選手2名をエントリーし、7月から合同練習が始まっています。

前任者同様、児童生徒の

社会教育・社会体育関

宮下病院リハビリ室からのお知らせ

これまでリハビリ部門は2名体制で対応してまいりましたが、現在1名で対応しています。通院でのリハビリは金曜日以外で予約制としておりますので、ご理解をお願いします。

私が着任して以来、他院からリハビリ目的の転院も徐々に増え、さらに、会津若松方面へのリハビリ通院が大変との理由により、当院でのリハビリ受診へ変更する方も増えてきました。地域ニーズに応えられるようリハビリ部門としても努力してまいりますので、今後ともよろしくをお願いします。

(宮下病院 リハビリ室 柳田)

福島労働局からのお知らせ

福島県最低賃金が、令和5年10月1日から『時間額900円』に変わります。

福島県最低賃金は、常用、臨時、パートタイマー、アルバイト等の名称にかかわらず福島県内の全ての労働者に適用され、使用者は、その金額以上を支払わなければなりません。最低賃金には、次の賃金は算入されません。

- ・精皆勤、通勤、家族手当
- ・時間外、休日の割増賃金及び深夜手当
- ・臨時に支払われる賃金、1か月を超える期間ごとに支払われる賃金

お問い合わせ：福島労働局雇用環境・均等室 TEL 024-536-2777

福島県司法書士会からのお知らせ

司法書士による成年後見相談会を行います。お気軽にお問い合わせください。

◆相談内容：高齢者・障がい者に関わる法律問題、成年後見、遺言、相談、登記、等

◆相談日時：10月21日(土) 午後1時30分～午後4時

(電話受付時間：午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時)

◆会場：會津稽古堂（会津若松市生涯学習総合センター）

◆相談には予約が必要です。ご予約は、フリーダイヤル TEL 0120-81-5539 へおかけください。受付時間は、平日午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時です。

お問い合わせ：（公社）成年後見センター・リーガルサポート TEL 0120-81-5539

ふるさと納税 — ご寄附いただいた皆様ありがとうございます —



令和5年8月1日 ～ 令和5年8月31日まで

【寄附件数】 4件 【寄附金額】 5万5千円

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄附いただきありがとうございました。

ふくしま生活・就職応援センター無料相談窓口からのお知らせ

毎週月曜日～土曜日の10時～19時までの間、完全予約制で落ち着いた環境で相談ができます。(専任相談員男女1名ずつ在籍)

就職相談や職業紹介の他、応募書類作成や求人検索に使えるパソコンも使用できます。

まずはお気軽にお問い合わせください。窓口相談以外にも、出張相談、電話、メール、オンライン相談の対応も可能です。

【お問い合わせ・ご予約】

ふくしま生活・就職応援センター 会津若松事務所

住所：会津若松市南千石町6-5 会津若松商工会議所2階

電話：0242-27-8258 メール：info-ouena@pasona.co.jp



聴覚支援学校会津校からのお知らせ

聴覚障がい乳幼児子育て相談『みみちゃん教室』を開催しています。

◎ことばを育むには早期からの楽しいかかわりが大切です！

◎お子さんの様子や相談内容に応じて、一緒に遊ぶ中でコミュニケーションを促し、聞く姿勢や言葉を育てるお手伝いをします。

- ・とき：月～金曜日 午前9時～午後4時(年末年始・祝日はお休みです)
- ・ところ：聴覚支援学校会津校内「地域支援センターみみらんど・會津」
会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102
- ・対象：きこえやことばに心配がある乳幼児とその保護者
- ・費用：無料
- ・お問い合わせ 教頭 電話/FAX 0242-22-1286

Mail : fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp



国土交通省東北運輸局福島運輸支局からのお知らせ

なくそう。うっかり更新忘れ。

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、令和4年度の事故発生件数は約30万件、死傷者数は約36万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっています。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべてのクルマ・バイク等1台ごとに加入が義務づけられており、加害者の損害賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保証する制度であり、被害者の救済を目的としています。

一人一人が、より一層自賠責制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いのしくみなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

自賠責特設サイト



〔連載〕 昭和村の歴史と文化

（第10回）

昭和村文化財保護審議会委員長

菅家 博昭（大岐）

萬載計画

（ワンザイ・プロジェクト）

2023年9月15日午前9時、カラムシ（苧）の生産に関する中国から6名の来日者があり「からむし織の里」にて懇談した。その代表者はスパトウさん（43歳）。閑雲夏布工作室を経営している。夏布とはカラムシ布のことである。

案内者は京都宇治でカラムシ繊維等の開発輸入を古くから行っている有限会社青土の橋本夫妻ら3名。古くからスパトウさんらと商業的な取引がある。

昭和村側は私と妻の洋子、大芦の須田雅子さんに英語の通訳をお願いした。使用言語は英語で、とのことだった。須田さんは後刻、沖縄のブー（苧）の現況についてスライド

写真を使用し英語で報告した。

中国側のスパトウさんは2017年のからむし織の里フェアに橋本夫妻の案内で来村されている。来村後、2018年から、郷里にて萬載計画（ワンザイ・プロジェクト）を実行している。土地のカラムシを調べ、品種をたくさん試作しながら良い繊維の取れる品種を特定し、栽培・生産を一貫して行う、という若い人たちのプロジェクトである。中国政府が調査したカラムシは中国国内に約千品種確認されている。スパトウさんはご自身の現在の商業活動を含め、「夏布の未来 The Future of KIBILASSA」という内容のスライド報告をされた。

← 報告するスパトウさん



江西省内で、2013年に閑雲夏布工作室を創設した。苧の繊維り職人であったが、思うところあり、独立した。その詳細は、夜に中向のペンション美女峠で行われた夕食会の席上で聞いた。将来、中国訪問を約束し私たちは帰宅した。

スパトウさんの同年代の江西科技師範大学職員のリョウ先生は、中国の苧（夏布）の歴史についてスライド写真を使い報告された。中国側はこの2名が現状の説明をされ

た。リョウ先生はあまり英語が得意ではないので、としながらも優れた発表であった。

日本国内の苧の生産の歴史と、山形県・会津等の現況（復活した大江町の最上苧（もがみそ））の事例などを紹介した。須田さんはフィールドである宮古島・石垣島周辺の事例を英語で紹介した。

沖縄の苧（からむし）は、「ブー」というが、中国語での発音を聞いてみると同じ「ブー」と言っていたのが印象的であった。また歴史的な経過のなかで葛の繊維も利用しており、昭和村ではクズと発話するが、クズと発話しているように聞こえた。似た音であるのは、日本は古くから中国文化圏（漢語文化圏）に所属するので、納得できる。さて、詳細は別に機会を改めて紹介するが、感じたことを今回は記してみる。

（1）中国のなかで、若い人たちを中心に手仕事に興味を持つ人たちが増えている。その流れはSNSによる。インターネットですら簡単に地方の取り組みが見られる状況が社会を変えつつあると思った。（2）製造業の下請けを脱して、畑での作物栽培・繊維取り出し・織布・染色・加工を行う若い人たちが増えている。そうしたきっかけに我が昭和村のからむし文化が国際貢献をしている、ということである。（以下、継続）



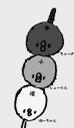
→ 制作している苧見本



4 時間目

「…一貫教育、一貫校に向けて…」

村では小中一貫教育を推進するべく、学校や保護者だけでなく、村民や村外の皆様にも、様々な情報や現状についてお知らせするため隔月で連載を行います。
【お問い合わせ】教育委員会 0241-57-2164



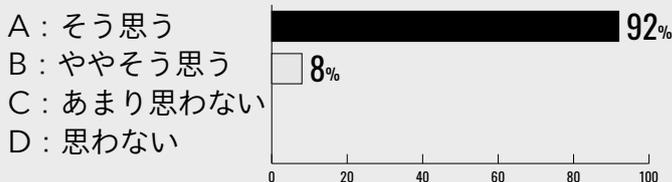
1 昭和小学校における昭和中学校教員による乗り入れ授業

小学校では、一貫教育の実践として中学校教員による『乗り入れ授業』を実施しています。これは中学校教員が小学校高学年の教科の一部を担当し、児童に教科指導を行う取り組みです。今年度は6年生の理科と5・6年生の社会科を行っています。乗り入れ授業の教育効果として挙げられるのは、中学校教員の専門知識や指導技術を生かして、児童により質の高い授業を提供することができる点です。また、中学校への進学における「中一ギャップ」の軽減にもつながることが期待されます。



< 乗り入れ授業についての児童アンケート結果 > (昭和小5・6年生調べ)

1. 中学校の先生の授業（理科・社会科）はわかりやすいですか。



2. 自由記述（一部抜粋）

- ・4年生まで苦手だった社会が中学校の先生のおかげで笑顔で楽しくできました。
- ・歴史上の人物や出来事を、詳しくわかりやすく教えてくれる。
- ・歴史の学習の縄文時代が一番楽しかった。
- ・食物連鎖のことをわかりやすく学ぶことができた。
- ・実験が楽しい。興味のある学習になっている。

上記の5・6年生へのアンケート結果からも、教育効果が顕著に表れています。小中一貫教育実現のための「乗り入れ授業」の継続、充実・拡大やさらなる小中の連携が昭和村の子どもたちへの「よりよい環境における、質の高い教育の提供」に大きくつながると考えています。

2 小中一貫教育先進事例視察研修

8月3日に、小中一貫教育先進事例視察研修に参加させていただきました。教育委員、教育長、教育次長、保育所長、小中学校長等計11名にて鮫川村教育委員会を訪問し、教育長の武藤誠様に、鮫川村が進めている小中一貫校（義務教育学校）設立に向けての取り組みについてご説明いただきました。その中で、理念や現在に至るまでの流れについて研修することができました。



鮫川村の現状・理念・今後の動き

鮫川村の教育の基本方針 「ふるさと鮫川の未来を切り拓いていく人づくり」	
現状	○ 少子化による児童・生徒数の減少 ○ 小中学校の施設・設備の老朽化 ○ 子どもたちを取り巻く社会環境の大きな変化
子どもたちにとって「より良い環境において、質のよい教育を提供する」ために『小中一貫教育の導入』『特色ある教育の推進』を掲げ、令和10年度に『義務教育学校』の開校を目指して動き出している。	

鮫川村の現状は、本村の小中学校を取り巻く現状と共通する部分があり、今後の本校及び本村のより良い教育活動推進にあたって大いに参考になるものでした。昭和村を愛し、高い志を持って未来をひらく人材の育成を図るための方向性として、『小中一貫教育』、『小中一貫校（義務教育学校）』の有効性を改めて感じているところです。

5 時間目は、昭和中学校長 土橋康弘先生です。

地域おこし協力隊

松尾 悠亮

小中津川名家文書の紹介③
明治時代の北海道移住資料

(三)

9月に引き続き明治時代に小中津川から北海道へ移住した栗城小太郎に関する史料を御紹介します。

3、「開墾ノ情状ヲ列挙シタル軍歌ノマネ」(後半)

明治39年(1906)、小中津川から北海道に移住しサロベツ原野を開拓した栗城小太郎の手紙です。先月は移住先の苦労が書かれた前半部分を紹介しました。今月は未来の生活の希望が書かれた後半部分を御紹介します。七五調を楽しめるので、後半部分も是非音読してみてください。

サレト熟ラ考ヘテ / 近キ未来ヲ思ナバ、喜事モアルナラン、何かト言ハ他ニアラズ / 開キシ土地ノ一戸分、其反別ハ五町歩ヲ、其レヨリ取得難穀ハ / 仮リニ一反一石ト、積リテ見レバ五十石、一石五円ト仮定セバ、代価ハ二百五十円、土地ノ価格ハ何程ゾ、千円乃至二千元 / 慥カニ前ハ見ユルモノ、艱難困苦忍堪ト、自分法度ノ辛抱ハ / 自然ノ勤勉貯蓄、是ハ一戸ノ計算テ、此ウエ二戸ヤ三戸分 / 成墾シタル曉ハ、長者ノ暮シト諺ニ、唱ヘテハチヌ財政ノ / 豊ケキ秋モアルナラン、居宅ハ奇麗ニ新築シ、日用什器モ新ラシク / カラダニ錦ヲ着飾リテ、珍膳美味ヲ飲食シ、三府五港ヲ始メトシ / 外国マンユウ随意ナリ、是等ハ個人ノ楽ミテ、又此上ノ快樂ハ / 北海道

ニテ有名ナ、天塩国ノ一部分、一ト目ニ余ル荒蕪地ノ / 其面積ヲ尋ヌルニ、三億余坪ト聞所、只茫漠タル平原ハ / 美事ナ耕地ト一変シ、数十万ノ収穫ヲ、取得ル時期ハ切迫シ / 于今巨大ノ有租地ト、成リ行ク事ハ疑ハズ、国ノ本タル農業ノ / 債務ト担ヘシ移住民 / 勉メ励メヨ撓ミナク、開キテ得タル其土地ハ / 皆骨折ノ報酬ゾ、子孫ノ為ナリ国ノタメ、丹精尽シ功労ト / 名譽ハ後ニ顕レン、愉快モ趣味アル愉快ナリ、移住者万々歳

広大な北海道天塩国を頑張って開拓していき財産をつくっていきこうという希望が書かれています。この他にも、寄贈していただいた資料の中には、天塩郡豊富の祭礼・家族の写真、樺太の写真がまとめられています。昭和村の近代資料として大変な貴重な記録です。

(続)

(写真) 天塩国豊富で行われた祭礼の写真(明治44年)
北海道天塩国天塩港桑原写真館
裏面に「于明治44年6月15日 / 天塩郡沙流村字豊富(元エベコロベワ) / 祭典余興ノ出シノ屋台ノ内外ニ短キ単衣ヲ着テ居ルハ青年者ナリノ屋台ノ上段ハ二見力浦ノ光景」という説明書(手書き)あり。



警察署からのお知らせ

「電子マネーを買って番号を教えて」は詐欺です

昨今、コンビニ等で購入できる電子マネーカード (iTunes カードやアマゾンギフト券等) でお金を要求する詐欺が増えています。事業所が各種支払を電子マネーで請求することはありませんので、そうした話をされたら、詐欺を疑いましょう。

○ サポート詐欺

パソコンやスマートフォンを使用中、ウイルスの警告画面が表示され、表示された連絡先に電話すると、電話に出たオペレータから「ウイルスを除去する費用」として電子マネーを要求されるもの。

○ サイト利用料・携帯料金名目詐欺

電話やSMS (ショートメッセージ) などで「サイトの未納料金がある。携帯電話料金が未納だ。支払わなければ裁判になる。」などと言われ、電子マネーを要求されるもの。

昭和村内街頭犯罪等発生状況

(令和5年8月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣	4	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし	1	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	1	
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	6	0
その他刑法犯等	33	0
全刑法犯	39	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和5年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

10月は蜂の季節？

・蜂の活動時期は？

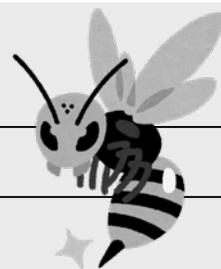
蜂、特にスズメバチの活動最盛期は一般に 7～10月 と言われています。つまり、この時期は蜂が最も攻撃的になっている時期ということです。また、ミツバチが攻撃的になる時期も 10月～11月 と言われています。

・蜂に刺されないようにするには？

- ① 白い服を着る…スズメバチは黒い物を目がけて襲ってくる習性があります。
- ② 香水やヘアスプレー等は付けない…蜂は強い匂いに敏感に反応します。
- ③ 屋外でのジュースは危ない…飲料水に寄ってくる場合があります。

※何より蜂の巣を見つけたら近寄らないようにして下さい！

もし蜂に刺されて体調が悪くなったら、ためらわずにすぐ救急車を！



住宅用火災警報機～正常に鳴るか確認～



引きひもを引く
またはボタンを押す



鳴ればOK!

・住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安にした交換の検討をお願いいたします。

＋ 10・11月の休日当番医 ＋

- 10月8日(日) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 9日(月・祝) 星医院
☎ 0242-83-2136 (会津坂下町)
- 15日(日) 坂下厚生病院
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 22日(日) こばやしファミリークリニック
☎ 0242-55-0388 (会津美里町)
- 29日(日) 柳津国保診療所
☎ 0241-42-2334 (柳津町)
- 11月3日(金・祝) 昭和村国保診療所
☎ 0241-57-2255 (昭和村)

次回広報発行までの間の休日当番医を掲載します。通院の参考にして下さい。

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和5年8月1日～8月31日受付

● お誕生おめでとうございます

本名 朔来くん (歩・沙織) 下中津川

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

渡部 清 さん 81歳 小中津川

栗城 カメノ さん 78歳 下中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和5年9月1日現在※住民基本台帳人口

人口	1,129人 (-1)	出生	1人
男	549人 (±0)	死亡	2人
女	580人 (-1)	転入	3人
世帯数	625戸 (-2)	転出	3人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30

(会場の都合により使用できるお部屋が変更になる場合がありますのでご了承ください)

<健康ミニ情報>

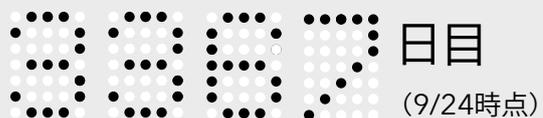
身体活動・運動の不足は、高血圧や糖尿病、喫煙に次いで死亡に関する危険因子として示唆されています。また、高齢者では、運動機能や認知機能の低下と関係することも明らかになっています。運動機能の低下や不足により疾患や介護が必要な状態にならないようにするためにも、身体活動・運動が重要になります。

習慣的に運動を行うことは、生活習慣病の要因となる肥満の解消、糖尿病、循環器疾患、脳血管疾患等の様々な疾患の予防、リフレッシュによるこころの健康の保持や高齢期の健康保持や生活機能低下予防につながります。

「運動」となると敬遠されがちですが、日常の中で少し「歩数を多くする」だけでも活動量は上がります。運動がもたらす効果を知り、日常生活の中でよく身体を動かす等、できるところから意識的に取り組みましょう。

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 3期
- ◎ 国民健康保険税 4期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 3期
- ◎ 介護保険料 4期

[納期限：令和5年10月31日]

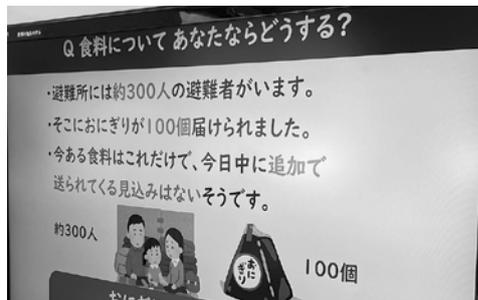


地域のしあわせづくり活動紹介「いざという時、もしもの時の そなえの一步」

公民館事業の少年教室と昭和村赤十字奉仕団と合同で開催した防災教室では、避難所での救援物資の事や、トイレ問題などを課題にし、グループに分かれて話し合いをおこないました。奉仕団員としての視点と子育て中のお母さんの視点で沢山の意見やアイデアが出され、側で聞いていた生活支援コーディネーターも大変勉強になりました。

災害が起きると、幅広い世代の人たちが一緒に避難所で生活をします。「日ごろからの地域のつながりが避難所などで力を発揮する。」と講師の筑波氏が話しておられました。今回の合同開催は世代間交流にもなり、地域力アップにつながる「そなえの一步」と言えそうです。

※防災教室についてはP11にも掲載されています。



(生活支援コーディネーター：和泉朋子・小林さや香)

みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、400人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで「昭和村」を友だち追加



ID: @showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からのお知らせ

を受け取ろう!!

秋

実りの季節となりました。この時期特有の道路に落ちる栗や栃の実などの木の実は、極力避けて車で走ります。動物達の大切な食糧であり、木々達が一生懸命蓄えた栄養なので、なるべく無駄なく循環して欲しいから。

ただ・・・意図的に車の前に木の実を置く濡羽色の賢いやつ・・・そうカラスです。車に硬い殻を割らせようとはしますが、こちらも見通し、避けて走り、簡単には割りません。カラスも観察力とフェイントを駆使したチームプレーで対抗してきます。

秋は実りの季節であると同時に、頭脳戦の季節でもあります。(と)

昭和村民憲章

- 一、伝えましょう
はた音の響き
- 一、守りましょう
手技の智恵
- 一、創りましょう
おいしい水
豊かな大地
- 一、育てましょう
健やかな心と体
長寿の里
- 一、広げましょう
助け合う心
いたわりの気持ち
- 一、明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp